

しあわせ実感モニタリング 事前アンケート回答一覧

回答者(回収率) 66人(6.6%)

分 野	回答内容
医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に母子家庭で障がい児の子育てをしている為困難に会うことが多く、もっと充実してたら全てが上手く過ごせると思うため。 ・親の介護や自分の老後の生活を考えた時に、介護サービスの情報、住居、移動手段についての情報取得先が分からないなど、日常生活の中で情報を発信してほしい。 ・自分の職が保育関係だから。 ・高齢化、介護など不安がある。 ・高齢化のため老老介護が当たり前になり介護者の精神的、肉体的、金銭的負担が大きく普通の生活が送れないため、介護が必要になった時点で施設に入所できるようにして欲しい。 ・親が高齢になり今後の医療や介護について現状福祉施設など足りていないと感じる。 ・婦人科や皮膚科などが少ないから行きづらく、合わなかったら隣の市まで行かないといけない。 ・高齢者に身近なことが乏しい。 ・治療ができないという理由で転院させられた経験があり、医療の充実が必要。
買物・飲食	<ul style="list-style-type: none"> ・現在キッチンカーで飲食をやっており、ゆくゆくはカフェを開業したいと思っているので関心がある。 ・飲食店が好きだから ・物価が高く、なにを買うのにも高くものがもう少し安くないかと思う。 ・市内にもっと買い物ができるお店が増えてくれると嬉しい。市内でデリバリーしてもらえるような飲食店が増えると、有り難い。 ・物価高騰が激しく、食べていくことは無くてはならないことで、とても苦しい。
移動・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・老後が心配、公共交通機関がない。 ・柏原町には柏原病院があったが、日赤病院もなくなり、今は丹波医療センターになり、デマンドタクシーでは直接行けなくなっている。 ・今はまだ車の運転ができるが、もうあと数年もすれば高齢となり車を手放すと買い物、病院、趣味、何かにつけて移動が大変になる。 ・この先のことを思うと、こどもの住む都市部の施設で生活するしかないという見通しである。 ・電車の本数が少ないため、朝と夜の通勤、通学の時間帯だけでも本数を増やしてほしい。 ・免許証を返納したときの移動手段、タクシー券を貰っても町から町にまたいで移動できない、またいで行く事ができるようにしてほしい。

※回答の主旨が変わらない範囲で編集を加えています。

分 野	回答内容
遊び・娯楽	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子だけでなく高校生以上、20代でも遊べるような施設がないことが不満だったから。地域の人との交流の場を増やしてほしい、もしくは今も交流の場はあると思うがいつ何を開催しているか分からないので分かりやすく情報が出てくればいいと思う。 ・子供が遊べる公園が欲しい。公園は沢山あるものの、芝生広場しかなく、無駄に広い。水分れ公園やおばあちゃんの里に未就学児向けの遊具が少しあるくらいで小学生以上の子供が体をつかって遊べるような施設がなく、結果、ゲームやスマホで遊ぶしかない。スケボーや自転車の練習ができるようなスペースもほしい。近隣の市では、大きな公園や図書館も併設した施設も充実しており、わざわざ遊びに行っている。遊びに行ったついでに飲食もするので、丹波市にもそういった施設があれば地域活性化に繋がるのでは。 ・みんなどこで何して余暇を過ごしているのだろうか。ネットが普及した今、家で過ごしているのだろうか。新しく友達や、異性との出会いとか、希薄になっているのではないか。 ・丹波市に若者が楽しめる娯楽施設が少ないから。 ・仕事等のストレス発散する場所としての娯楽が少ないから。例えば、ROUND1みたいな施設があると良いかなと思う。 ・以前に比べて、喫茶店等(コミュニティの場所)を含め飲食店が減少しており、地域活性化ができていない様に感じる。
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに歩いて行ける公園(遊具のある)が少ない。医療センターがあるのは安心だが、病院が少ない。 ・昨年結婚して、妊活を始めようとしています、初めてのことで不安がたくさんある。補助や、保育園のことや妊婦中のサポートなど、今後も働きつづけていながら子育てができれば幸せ。 ・雨の日や日曜日に子供を連れていく所がない。また、子連れで行ける飲食店が少ない。チェーン店が撤退しており、生活環境的にマイナス。 ・先日第一子を出産し、初めての子育てになる。生まれてきたこどもに幸せになってほしい。 ・2歳の子供の子育て中のため、特に関心がある。将来の話だが、子供の英語教室やプログラミング教室などの選択肢が少ない。 ・現在、3歳と0歳のこどもを自宅保育しており、日々のこどもや地域での過ごし方に興味関心がある。
初等・中等教育	<ul style="list-style-type: none"> ・初等中等教育は全ての人を受けけるものであり、多くの時間をかけるため、人の価値観に大きな影響を与えると考える。教育が犯罪率の低下、将来の国民所得の増加にも繋がると考えているので、関心がある。
地域行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市長が公約を実行されていないことに不満を感じる。選挙で有権者と約束したことは守ってほしい。
デジタル生活	<ul style="list-style-type: none"> ・近年ではデジタル化が進んでおり、情報収集やオンラインショッピングは日常生活を過ごす上で欠かせないものになっているから。

※回答の主旨が変わらない範囲で編集を加えています。

分 野	回答内容
公共空間	<ul style="list-style-type: none"> ・3年前に丹波市に転入したが、地域の本来もっている力が存分に発揮されていないように感じている。どうしても考え方・民意までもが高齢化・固定化されて、地域のポテンシャルが低く見積もられているように思われる。
事故・犯罪	<ul style="list-style-type: none"> ・私達が子供の頃とは違って考えられない犯罪が多発していることを踏まえて丹波市に安全と子供達の住みやすい環境を与えてあげるために協力したい。 ・駅近くに住んでいることもあり、防犯カメラの設置を進めてほしいと思っている。犯罪への抑止と後で検証できるようにしてもらえると安心。また、他市に長く住んでいたので比較しやすい分、丹波市内の運転マナーは良くないと感じている。
自然の恵み	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波市は1年を通して四季がよく感じられ、自然も美しい。美味しい食べ物もたくさんある。阪神間や他府県へのアクセスもよく、生活環境も良い。
環境共生	<ul style="list-style-type: none"> ・10年ぶりにUターンで丹波市に戻ってきたが、特に感じたのが水質の悪さであり、また水道料金も今まで住んできた自治体に比べて高額である。
地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしにしあわせを感じる所謂日常を充実させるには、家族、地域等とのつながりの中で人間関係を良好に保ち、お互いを認め、それぞれの一員として存在できることであると考えている。 ・少子高齢化が益々顕著になり近所つきあいが希薄になってきた。最近だが、集落における小学校のPTAが解散したと聞いた。少子化対策等で地域の活性化が必要だと思う。 ・地域活動及びコミュニケーションを大事にしていく。 ・私が考える丹波市での暮らしのしあわせ向上は、「村付き合い、田んぼ、草刈り、消防団」の負担軽減であり。私だけではなく、市外へ出て行く人や移住先に選ばない人の理由の多くはこれらにあてはまっていると思う。 ・地域の行事やイベントがコロナ以降減少して、世代を超えたつながりが希薄になっているように感じる。自分にできる事や参加できる事は限られているが、必要だと感じている。 ・人とのつながり、助け合いが大切だから。 ・全年齢役割を持てた安心した生活。高齢世代からこども世代まで。
多様性と寛容性	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの世の中は、嫌でも多様な考え方の世界になっていく。また他の人の考え方に違いがあっても認める寛容性が必要になってくる。 ・丹波の田舎にもIターンの若者流入がある。田舎の良いところもあるが、改善すべき点も多い。 ・自治会活動(祭や消防)や地域行事の中長期的な継続には我々世代の参加が不可欠であるが、こうした活動には無関心(参加したくない)という者が我々世代には多いと感じる。自分たちもやりたい気持ちでやっているわけではなく、義務感や上の世代からのプレッシャーもあり辞めたくても辞められない。

※回答の主旨が変わらない範囲で編集を加えています。

分 野	回答内容
自己効力感	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが自分らしい生き方ができる丹波市にするために、真の男女共同参画社会の実現が必須だと考える。そのためにまずは性別役割分担意識を払拭することがキーになる。 ・自己決定できる機会が多いほど幸せに思える。自分で選んだから責任もおい、納得もできてしんどくても頑張れる。
健康状態	<ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐ2回目の定年を迎え、これからの生活が少しゆとりがあり、充実したものになるとワクワクする。 ・自分らしさを表現するためには、体が動かない(趣味も含め)とだめだと思うから。 ・身体も心も健康であることが、暮らしを楽しむ上で大前提であるから。 ・病気や怪我をしていると幸せじゃないと思うから。 ・普通に生活できていることが自分にとってのしあわせであり、このしあわせを感じるためには、自分が健康でなければいけないと感じたから。 ・病気と共に生活をしているのでしあわせを向上させる余裕はない。 ・丹波市に住んで30年以上になる。その間、母が脳梗塞で倒れた時にであった病院探しの大変さだ。自分が高齢者の仲間入りをして、いざという時どうなるのか、と不安である。 ・65歳定年してから、自治会の役員をしており、健康で暮らすことが、自治会の力になれると考える。 ・私たち夫婦は70代なので元気である。しかし、年老いていくなかで自分のことができるように努力や協力が必要になる。昔のような地域との関わりが薄れてきた現在で中々厳しいものがある。そんな中で健康で日々過ごせるための情報などがほしい。
文化・芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・最近では地域の歴史の探究に興味がある。新たな発見をしたときの喜びは最近感じた何事にも代えがたい幸せである。
雇用・所得	<ul style="list-style-type: none"> ・物価は高くなるが、昇給はそれに伴っていないと思う。将来のために貯蓄は増やしていきたいが、いままでそう言ったことを学ぶ機会がなかった。 ・雇用の種類や所得が増えると、休日に使えるお金が増えるため、その分仕事への意欲が増すと思う。福祉職の給与改善はされつつあるが、都会に比べると働きに見合った額では無く、都会への流出は止められないと思う。更なる給与改善、または社会保障の充実を希望する。 ・生きて行く上で、お金が必要不可欠だし、丹波市に住み続けたいと思っているから。